



# 県政フラッシュ



## 10/19 一川防衛大臣、玄葉外務大臣が相次いで来県



玄葉外務大臣に要望書を手渡す仲井真知事

10月17日に一川保夫防衛大臣、19日に玄葉光一郎外務大臣が、それぞれ就任後初めて来県し、県庁で仲井真知事及び県幹部と米軍普天間飛行場の県外移設などについて意見交換した。

会談で一川防衛大臣は、去る6月の「2プラス2」で、米軍普天間飛行場代替施設の位置、形状等を日米間で合意したことなどを踏まえ、環境影響評価書の年内提出に向けた準備を進めていることを伝えた。これに対し、仲井真知事は、沖縄県の諸状況等から、辺野古案の実現は事実上不可能であり、同飛行場の県外移設を求めることを申し入れた。

玄葉外務大臣との会談においては、大臣が日米合意を着実に実施するという政府の方針を、改めて知事に伝え県側に理解を求めたのに対し、仲井真知事は一日も早い普天間飛行場の移設・返還の実現と併せて、グアム移転や嘉手納飛行場より南の施設・区域の返還の促進を求めた。

## 10/25 第1回「空手の日」特別記念演武祭が開催



全理事・演武者とともに記念撮影をする仲井真知事

10月25日は「空手の日」とすることが2005年3月の県議会で議決されてから、7年目となる。これは、1936年10月25日が、「空手」という表記が公式に決定された日であることに由来しており、それを記念し、沖縄伝統空手道振興会が主催する演武行事である。

沖縄伝統空手道振興会会長の仲井真知事は「この演武祭を契機に、沖縄県民が沖縄伝統空手の素晴らしさや価値を再認識し、その普及・継承・発展に努めることを期待する」とあいさつした。

同演武祭は、沖縄伝統空手道振興会傘下の4団体による演武が披露され、「空手の日」の意義をアピールするとともに、「空手のメッカ沖縄」を世界に発信する機会とした。

## 11/2 第6回太平洋・島サミットに向けて



支援チームの看板を設置する仲井真知事

2012年5月に県内で開催される第6回太平洋・島サミットに向け、県交流推進課内に実施支援チームが発足した。

同日行われた設立式において、仲井真知事は「沖縄で開催してよかったと各国首脳に喜んでもらえるように取り組んでほしい」と職員を激励した。

このサミットでは、太平洋島国15カ国1地域の首脳と日本の総理大臣が名護市に集まり、太平洋諸島の課題や将来について話し合う。

復帰40周年記念事業として取り組む今回、県の新規支援事業として、日本を含む参加国の高校生が参加する「高校生太平洋・島サミット」を宮古島市で行うこととなり、支援チームはそれら事業の企画ならびに実施にあたる。

## 11/13 「第32回全国豊かな海づくり大会～美ら海おきなわ大会～」1年前プレイベントを開催



大会テーマ・キャラクター受賞者と記念撮影をする仲井真知事

平成24年秋に糸満市で開催される「第32回全国豊かな海づくり大会」の開催趣旨の周知を図り、大会の開催に向けた機運を醸成するとともに、水産資源の維持培養と海の環境保全に関する意識の高揚を図ることなどを目的に、同大会の1年前プレイベントとして、糸満市において「おきなわ豊かな海づくりフェスタ2011in糸満」が開催された。

式典に出席した仲井真知事は「海の環境保全の大切さや、本県の水産業に対する理解が深まることを期待している。来年の大会の成功に向けて、更なる御協力をお願いする」とあいさつした。会場には多くの来場者が訪れ、海や魚に関する多彩なイベントを満喫した。

## 目次

- 2 県政フラッシュ
- 4 **特集1** 第5回 世界のウチナーンチュ大会開催!
- 6 **特集2** 沖縄の子どもたちを九州へ!
- 8 **特集3** 新しい沖縄づくり10年計画
- 10 飛び出せOKINAWA!! ヒト・モノ・企業のグッジョブ 「音楽家・総合プロデューサー 仲間将太」
- 12 県のうごき1 平成23年度沖縄県功労者表彰式
- 13 県のうごき2 地域に役立つ芸術大学を目指して
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながりつづくよ人の輪地域の和 「与那原町」

## 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならずにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができます。ほか、沖縄ファミリーマートの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

美ら島沖縄 検索  
http://www.pref.okinawa.jp/churahome/

沖縄県知事公室広報課  
TEL.098-866-2020

表紙について  
次代へつなげたい沖縄  
師匠から弟子へつなぐ「琉球漆器」  
琉球漆器は、海外交易の盛んな十四世紀～十五世紀頃から始まり、その技術、芸術性が高く評価され、献上品や貿易品として最も喜ばれた品物のひとつです。なかでも立体的な浮彫表現の「堆錦」技法は、他では見られない深い味わいを持っています。  
(撮影協力:株式会社 琉球漆器)

14日	第61回沖縄県振興審議会
13日	第32回全国豊かな海づくり大会1年前プレイベント
11日	表敬 第41回九州ブロック社会教育研究大会沖縄大会
10日	表敬 OIST ジョナサン・ド・ファン学長 久保真季副学長
9日	日銀・金融経済懇談会
8日	税制改正要望 民主党政策調査会会長 前原誠司氏
4日	(株)沖縄県食肉センター新と畜処理施設全面稼働式 秋の叙勲伝達式
3日	県功労者表彰式
2日	表敬 駐日大韓民国大使 シンガク・スー氏 「夢のバトンプロジェクト」知事インタビュー
1日	国内甘味資源作物の生産対策とTPP交渉への対応に関する要請 第6回太平洋・島サミット「沖縄県支援チーム」設立式
11月	
29日	第31回全国豊かな海づくり大会鳥取大会(30日まで)
28日	株式会社G-IOT設立記念セミナー
27日	沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会要請(28日まで)
25日	第1回「空手の日」特別記念演武祭
23日	琉球の祭典2011(琉球の愛)
22日	沖縄県体育協会資金造成ゴルフ大会
21日	表敬 表敬 表敬 オキナワ日本ボリビア協会会長 中村信史氏ほか 在亜沖縄県人連合会長 新垣定一氏ほか
20日	表敬 表敬 表敬 大韓民国群山市市長 文東信氏
19日	表敬 表敬 表敬 東日本大震災支援協力会議第2回総会 与党県議団
18日	要請 外務省沖縄担当大使離任・着任レセプション
17日	表敬 要請 要請 外務省沖縄担当大使 竹内春久氏 三味線制作事業協同組合
16日	表敬 世界のウチナーンチュ大会開会式グランドフィナーレ

## 県政日誌

### 沖縄の人口・世帯の動き

人口 140万1,933人  
※前月比935人増  
世帯 53万0,921世帯  
※前月比729世帯増  
※平成23年10月1日現在

**グローバル次世代プロジェクト**  
 十月十四日(金)に沖縄コンベンションセンターで行われた「グローバル次世代プロジェクト」は、今大会の大きな成果のひとつです。  
 今年四月に立ち上がった若者・学生事務局が中心となり、各国の若者達と「アイデンティティ、ネット



開会式での知事あいさつ

り歩きました。  
 治道からは大きな歓声と拍手が沸き起こり、世界のウチナーンチュと県民とが一体となって盛り上がりました。  
 翌十月十三日(木)の開会式は、朝からあいにくの雨模様でしたが、開始直前に雨が上がり、屋外ならではのアトラクションが披露され、世界のウチナーンチュと県民が一体となつて盛り上がりました。  
 また、海外県人会長や海外功労者、新ウチナー民間大使などの紹介もなされ、世界に広がるウチナーネットワークを実感する式典となりました。



## 第5回 世界のウチナーンチュ大会開催! 時空を超えて 心はひとつになる



**ワールドウチナーシンポジウム**  
 十月十五日(土)に沖縄コンベンションセンターで行われた「ワールドウチナーシンポジウム」では、ウ

「何百万人の先人達の想いを引き継ぎ、残していきたい」「ウチナーンチュのチムグループで世界を平和に」という熱い想いが七つの提案として提言書に盛り込まれ、大会後の具体的な計画やアクションプランを世界各国の若者が実行していきます。  
 今大会を契機として、ウチナーネットワークを次世代へ継承する新たなプロジェクトが生まれました。



グローバル次世代プロジェクト 若者から提言を受けた知事

ワークの継承」をテーマに国際会議を開催しました。  
 世界中の若者達による白熱した議論の結果、「次世代グローバルプロジェクト若者国際会議提言書」とりまとめ、仲井眞知事へ提出しました。

**閉会式 グランドフィナーレ**  
 大会最終日の十月十六日(日)は、大会期間中悩まされてきた雨模様の天気が嘘のように晴れ上が



ワールドウチナーシンポジウム

チナーネットワークを担う次世代の人材育成などについて、各県人会会長・新ウチナー民間大使会議において討議され、世界中のウチナーネットワークぐるみの人づくりが必要である」との共通認識が得られました。  
 そして、その実現に向けて、①世界のウチナーネットワークの交流を促進し、共に人材を育成する②当該人材育成を図るために「万国津梁基金(仮称)」を設立することが盛り込まれた提言書を上原副知事へ提出しました。  
 各県人会長、新ウチナー民間大使からの提言を受け、今後県では、世界で活躍する人材の育成に向けて取り組んでいきます。



グランドフィナーレ

第5回 世界のウチナーンチュ大会ホームページ  
<http://www.wuf5th.com>

り、朝から多くの人々が大会会場へ足を運び、各イベントは大変な盛り上がりを見せました。  
 満員となった沖縄セルラースタジアム那覇での閉会式は、主催者、海外参加者、次世代、若者・学生事務局代表の挨拶など厳かに進行された後、エンディングアトラクションにより、スタジアム全体が感動と興奮に包まれました。  
 大会の最後を飾るグランドフィナーレはまさしく「みんながひとつになる感動劇場」となり、大会の熱気は最高潮となりました。  
 最後に打ち上げられた花火が鮮やかにスタジアムを照らし、史上最大規模で行われた今大会は劇的に幕を閉じました。時空を超えて、ウチナーンチュの心はひとつに。  
 また次回大会でお会いしましょう!

**世界のウチナーンチュ大会とは**  
 沖縄県では、戦前戦後を通じ、多くの県民が海外へ雄飛しており、現在、世界各国に約四十万人の県系人が在住しています。  
 海外に渡ったウチナーンチュは、移住先の困難の時代を不屈の精神と持ち前のおおらかさで乗り越え、今では社会の各方面で活躍し、高い評価と信頼を得ています。  
 こうした沖縄県の貴重な宝である海外の県系人を、「故郷」沖縄と結びつけ、世界的なネットワークを形成しようと一九九〇年八月に開催されたのが「世界のウチナーンチュ大会」です。  
 過去四回にわたる大会の成果として、ウチナー民間大使制度やWUB(ワールドワイド・ウチナーンチュ・ビジネス・アソシエーション)、

ジュニアスタディーツアー、ホストファミリーバンクといった組織や事業が創設され、ネットワークの拡充が図られてきました。  
 そして今年十月、「ちゅら島の魂 響け未来まで」をキャッチフレーズに第五回大会が開催され、世界に広がるウチナーネットワークを担う次世代の育成と、ネットワークのさらなる発展・継承のため、さまざまなイベントが行われました。  
**前夜祭パレード・開会式**  
 開会式を翌日に控えた十月十二日(水)に、「前夜祭パレード」が那覇市の国際通りで行われ、その名とおり国際色豊かに彩られました。  
 「故郷」沖縄に帰ってきたウチナーンチュたちは、鮮やかな民族衣装を身にまとい、にぎやかな踊りや音楽を披露しながら国際通りを練

十月十二日(水)から十六日(日)までの五日間、沖縄セルラースタジアム那覇と沖縄コンベンションセンターを中心に開催された第五回世界のウチナーンチュ大会。  
 二十四万国三地域から、大会史上最大五、三〇〇名以上の世界のウチナーンチュが来県し、県下最大規模を誇る「沖縄セルラースタジアム那覇」にて、開会式閉会式を開催したことで、これまで以上に多くの県民の皆様と感動を共有することができました。  
 また、本大会は本県が二〇一〇年に策定した「沖縄二十一世紀ビジョン」の中で指針とされている「世界に開かれた交流と共生の島」の実現に向け、重要な役割を担うとともに、「ウチナーネットワークの継承・強化・拡充」などの面で大きな成果を挙げました。

お問い合わせ 第5回世界のウチナーンチュ大会事務局 TEL:098-866-2762 FAX:098-866-2328

「沖縄県フレンドシップイン九州」は、青少年育成県民会議の会員による寄附や、企業などの協賛金、県からの支援、団員の参加費によって実施されています。

近年、子どもたちを取り巻く環境が厳しさを増す中、このフレンドシップイン九州においては、招待団員として、ひとり親家庭の児童や児童養護施設入所児童など、県外での交流活動や自然体験の機会に恵まれない子どもたちの参加を拡充し、これらの子どもたちの健全やかな成長を応援しています。

より多くの子どもたちが参加できるように、一般県民や企業・団体の皆様からの協賛金のご協力をお願いしています。

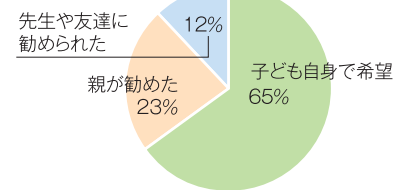
経済的事情、家庭環境の問題から、交流活動の機会に恵まれない子どもたちのために、また、交流・体験活動の充実のために、あなたもサポーターになりませんか？

協賛金の申し込みの手続きについては、(社)沖縄県青少年育成県民会議のホームページをご覧ください。ご協賛いただいた特典として、募集案内や事業報告書に協賛企業団体名等を記載します。

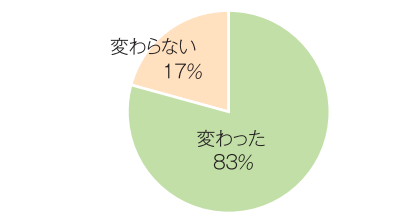
●目標金額  
1,000,000円  
(児童20人相当分)

●平成23年度 沖縄県青少年フレンドシップイン九州 アンケート結果(保護者)抜粋

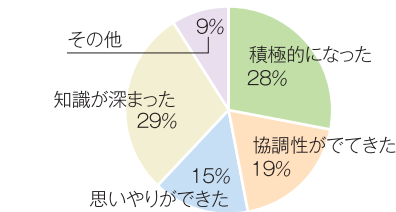
■お子さんが青少年フレンドシップイン九州に参加したきっかけは？



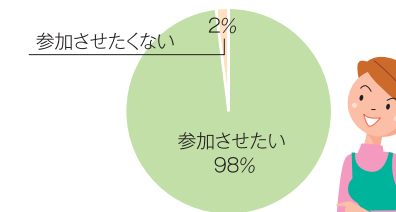
■青少年フレンドシップイン九州に参加させてお子さんは変わりましたか？



どのように変わりましたか？(変わったと答えた方のみ)



■お子さんをもっとこのような研修に参加させたいと思いますか？



交歓交流会(エイサー)



施設見学(ロケット)

参加団員の感想文

「フレンドシップイン九州」 小学校 6年 Sくん

僕は、7月27日からフレンドシップイン九州に参加しました。最初は、友達がたくさんできればいいなと思いました。そして、友達ができた今度はチームワークも大切だと知りました。最初は皆、バラバラで動いていたけれど、だんだん、全員がまとまって動けるようになって、最終日には、時間も守れるようになりました。この4泊5日で、思いやりを持つ、けじめをつける、チームワークの3つが大切だとわかりました。そして、周りの人たちにもめいわくをかけたということも大切だとわかりました。このフレンドシップイン九州はとて素晴らしい経験だと思いました。なぜなら、これは今後にも役立てることができるからです。また、こんな経験ができたなら、今度は知識をもっと深めたり、もっと協調性が持てるようにがんばりたいです。

「高校最後の夏休みに最高の思い出」 高校 3年 Mさん

私の班について紹介します。私達の10班はマイペースな子や、毎回必ず1つは忘れ物をする子がいて、移動する時もバラバラで、まとまりがありませんでした。しかし、この4日間でみんな一回りも二回りも成長しました。お互いに「今でお風呂の準備しとこ」とか「忘れ物はない？」など声をかけ合ってる姿を見て感動しました。早く準備してくれたおかげで、最後の2日間はお風呂に1番乗りし、少しの間でしたが大浴場を10班が独占することもできました。

私は未っ子なので、妹か弟が欲しいと思っていました。このフレンドシップイン九州を通して一気に7人の可愛い妹と3つ下のたよりになる妹が出来ました。本当の姉妹みたいになったので別れる時とても寂しいです。今回、フレンドシップイン九州に参加できて良かったです。大城光代団長をはじめ、事業に携わった多くの方々のおかげで、フレンドシップイン九州をとて楽しく、大成功で終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

■沖縄県青少年フレンドシップイン九州招待団員数の推移

招待団員推薦団体	H19		H20		H21		H22		H23						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
県内各児童養護施設	1	1	2	1	1	2	1	1	2	5	4	9	5	4	9
沖縄県母子寡婦福祉連合会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	6
沖縄県交通遺児育成会(同会負担)	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	2	2	4
合計	2	2	4	2	2	4	2	2	4	6	5	11	10	9	19

サポーターになろう！



協賛金の募集

沖縄の子どもたちを九州へ！  
沖縄県青少年フレンドシップイン九州

県内各地から集まった初めて会う仲間と共に、協力し、助け合いながらの集団生活や自然体験を経験した子どもたちは、豊かな感性と自立心が育まれ、大きく成長します。

「沖縄県青少年フレンドシップイン九州」では、毎年7月下旬に県内各地の小学五年生から高校生まで、約三百人の団員が参加し、九州へ四泊五日の旅をしています。この旅の目的は、「九州に伝え、九州から学ぶ」をテーマに、九州の青少年との交歓交流会を行い、相互理解と友情の絆を深めること、そして、異年齢集団による集団生活を通して、自主性や協調性を養うことにあります。

青少年フレンドシップイン九州 九州に伝え、九州から学ぶ

子どもたちを取り巻く環境が厳しさを増し、子育てを社会全体で支えようという気運が高まる中、ひとり親家庭の子どもや、児童養護施設入所児童などへの支援のあり方について、全国的に注目が集まっています。

こうした状況をふまえ、社団法人沖縄県青少年育成県民会議では、「沖縄県青少年フレンドシップイン九州」におけるひとり親家庭の児童など、支援を要する子どもたちの参加拡充を目指し、「一般県民・企業・団体などからの協賛金を募集しています。」

■平成23年度 沖縄県青少年フレンドシップイン九州 日程表

日 程	活動内容
1 日目 7月27日(水)	●結団式 ●那覇空港～(福岡空港・阿蘇空港)～阿蘇青少年交流の家
2 日目 7月28日(木)	●阿蘇登山体験 ●火口見学 ●キャンドルのつどい
3 日目 7月29日(金)	●交歓交流会(熊本県の児童・生徒) ●移動～鹿児島県
4 日目 7月30日(土)	●交歓交流会・内之浦宇宙空間観測所見学(鹿児島県の児童生徒) ●号車別創作発表会 ●お別れセレモニー
5 日目 7月31日(日)	●感想文、アンケート ●鹿児島県内 見学 ●鹿児島空港～那覇空港・解団式



お問い合わせ (社)沖縄県青少年育成県民会議 TEL:098-861-3463 FAX:098-861-3473  
県青少年・児童家庭課 TEL:098-866-2174 FAX:098-868-2402



首長意見交換会(北部)

このような中、沖縄県では平成二十三年七月に「新たな計画」の策定準備として、その基本的な方向性を示すため「新たな計画の基本構想」をとりまとめた。

新たな計画の姿



新しい沖縄づくり10年計画



第59回沖縄県振興審議会



経済団体等との意見交換

県民の参画と共同

新たな計画の策定にあたっては、沖縄県振興審議会における調査審

性を示すため「新たな計画の基本構想」をとりまとめた。特徴としては、沖縄はもとより日本全体がアジアの活力を取り込む足がかりとなることなどを旨とする「強しなやかな経済の構築」と、沖縄の良さを取り戻すことなどを内容とする「沖縄らしい優しい社会の構築」を施策展開の基軸とし、「時代を切り開き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ」の実現を図ることを明示した点にあります。



議を経るとともに、市町村長との意見交換会、県民説明会、県民フォーラム、各種団体との意見交換会、大型商業施設におけるパネル展及び県ホームページ上の意見募集など、さまざまな機会を設けて各界各層から意見をいただく取り組みを進めてきました。

くにあっては、県民の皆様との責任と創意工夫によって進むべき道を定め、その歩みを進めようとする現在、多くの県民の皆様に関心をもっていただき、新たな計画づくりに参加していただけるよう努め、取り組みをさらに強めてまいります。

沖縄振興計画の成果と課題

平成二十四年三月末に沖縄振興計画が終了します。沖縄の振興発展をどう図っていくのか、新たな計画づくりが佳境を迎えています。

本土復帰時の沖縄県の経済社会の状況は、生活基盤、産業基盤、経済力など多くの分野において本土との著しい格差が存在していました。

このような状況を踏まえ、3次にわたる沖縄振興開発計画や現行の沖縄振興計画に基づく諸施策が展開され、現在では、交通基盤、医療・福祉、教育施設などの社会資本整備が進み、県民の利便性は向上し、本土との格差も次第に縮小したほか、経済・産業分野では、観光産業の伸びや情報通信関連産業の集積などで一定の成果が現れています。

しかしながら、高い輸送コストなど島しょ経済が抱える条件不利性を克服する手立ては十分とは言えず、県民所得や失業率に示されるように、自立的発展に向けた取り組みは道半ばです。

さらに、医療・福祉・教育の充実、離島の振興、米軍基地の返還促進や跡地利用など、解決すべき多くの課題を抱えている状況にあります。

一方、グローバル経済の進展、アジア諸国の経済発展など、これま



県民説明会(宮古)

での時代の枠組みが大きく変動する中、全国が人口減少に向かう中で、人口の増加、成長著しいアジアの中心に位置するという地理的特性、東西約一、〇〇〇キロメートル、南北約四〇〇キロメートルに及び広大な海域、美しい自然や個性豊かな独特の文化など、本県の更なる発展を実現する上での優位性が顕在化しつつあります。

今後は、本県の発展可能性を最大限に生かし、自立型経済の構築に向けた環境整備などを一層進めていくことが求められます。

お問い合わせ 県企画調整課 TEL:098-866-2026 FAX:098-866-2351

# ヒト・モノ・企業のグッジョブ

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められている  
ヒトやモノ・コト、企業のおふれる  
パワーをお届けします。

音楽家・総合プロデューサー  
**仲間将太**

今回のグッジョブはボストン在住で  
音楽家・芸術監督・総合プロデューサーとして  
活躍する「仲間将太さん」です。

音楽との出会いが  
彼のターニングポイント  
だったのね。



多方面でマルチな才能を発揮する  
「仲間将太さん」

世界でも類のない  
ユニークなオーケストラ  
「VGO」を結成

アメリカ、ボストンを拠点に活躍する「VGO」(ビデオゲームオーケストラ)は、ロックバンドや合唱を融合させた新しい形態のオーケストラ。総勢百名以上、世界二十カ国以上の若手プロ音楽家が集まって構成され、ゲーム音楽やアニメ、映画音楽を中心に演奏を行っています。二〇〇八年の結成から三年足らずでコンサート観客動員数二万人以上を達成し、アメリカ北東部最大のアニメイベントやゲームイベントにも出演。二〇一一年四月には、アメリカの伝統ある「ボストン・シンフォニー・ホール」を満席にするなど、アメリカを中心にとするゲームファンを魅了しています。



アメリカ北東部最大のアニメイベント「Anime Boston 2009」でギターを演奏する将太さん

「小学生の頃からゲーム好き。ゲーム音楽の作曲家として知られる光田康典さんのクローン・クロスのサントラを聞いて、ゲーム音楽のレベルの高さに感銘を受け、ぜひ生で演奏したいと思った」とVGO結成のきっかけを話すのは、那覇市出身で現在ボストン在住の仲間将太さん。弱冠二十九歳にして、総合プロデューサー・芸術監督としてVGOを率いています。街中で自ら声をかけて想いに共感する仲間を増やしてきた情熱家。オーケストラには珍しいアドリブを加えた演奏でも注目されています。



2009年の「AWAKENING CONCERT」で出演者と楽しげにセッションを行う将太さん

名門パーカリーでさらに  
開花した音楽の才能

将太さんと音楽との出会いは小学生の時にはじめたクラシックピアノ。その後、十五歳でディープパープルに刺激を受けて独学でギターをはじめ、友人らとロックバンドを結成。

学校嫌いで高校には進学せず、大検を受検。「やりたくないことは絶対にやりたくない。今もそれは変えたくない」と話す将太さん。開業医の父の後を継がずに音楽の道を志し、十八歳で単身渡米。ワシントンの短大や大学で音楽や数学を専攻し、二〇〇六年にアメリカの名門パーカリー音楽大学へ編入。映画音楽作曲科において作編曲、

沖縄のために  
「音楽」ができること

ギター演奏、音楽テクノロジーを学び、在学中にVGOを結成しました。ギタリストとしての活動、音楽家としてオンラインゲームへの楽曲提供、ハーバード大学では作曲の教授のアシスタントとしてコンピュータでの譜面作成、マサチューセッツ工科大学ではゲームの開発さらに通訳・翻訳を行うなどマルチな才能を発揮しています。

「沖縄は外からの直接的な刺激が少ない。音楽は特に体感することが大切で、僕も若い頃にそれを痛感したので、少しでもその手助けができればいい」。沖縄の若手育成のために、パーカリーから世界トップクラスの教授陣を講師に招き、国際音楽ワークショップを企画。さらに沖縄で音楽の国際イベント開催やVGOの世界ツアーもやりたいと精力的です。



「PAX East2010」



6万人規模のゲームイベント「PAX East2010」でのVGOrchestraの演奏には、数千人の観客が殺到

「PAX East2010」でのVGOrchestraの演奏には、数千人の観客が殺到



2011年4月には世界的に有名な指揮者・小沢征爾氏が指揮をしたことで有名な「Boston Symphony Hall」でのVGO単独公演を大成功させた



「Boston Symphony Hall」ではギタリストとしても演奏した将太さん

「広い世界で成功することが沖縄のために。若い世代には、とにかく沖縄の外に出ろ！」と見たい。世界のあちこちを旅して見

聞や人脈を広げている将太さん。「世界にはいろんな人がいて多様な文化がある。異文化を理解し受け入れることで視野が広がる」とアドバイス。努力と覚悟を胸に、自分の信じた音楽の可能性や未来を切り拓いてきた将太さん。未知のものに立ち向かう勇氣や潔さには見習うところが多くありました。

独創的な発想が  
人々の心を揺さぶるのね。



世界から認められた  
ポイント!

「VGOの活動は企画や発想が良かった。これまでになく、周りの人々が欲していたものを提供できたことが支持されている理由」と語る将太さん。「音楽は人生を変え、道を拓く道具のひとつ」と話し、ジャンルを超えて楽しんでいくと提言。アメリカ人の発想の斬新さ、行動に移す速さに影響を受け、興味の赴くまま自由闊達に活動している将太さんの姿に真の国際人を感じました。



テラコッタ作品 (彫刻カジマヤー計画)

北中城村の地域づくり構想支援の彫刻専攻の教員が中心となって、

彫刻カジマヤー計画

近年、大学の教育・研究機能と並んで、「地域貢献・社会貢献」の重要性が強調されるようになってきました。本学では、これまで蓄積された芸術的資産、能力を県民に還元する...

音楽学部では、平成二十三年三月十一日の東北地方太平洋沖地震災害被害で被害にあつた皆様と地域のために、復興支援チャリテ...



オーケストラ演奏(チャリティーコンサート)



親子で楽しむ版画教室(移動大学)

附属研究所は、芸大建学の理念、設置の基本構想に基づき、地域の伝統芸能及びその関連分野の調査研究や、伝統芸術の後継者の育成...

移動大学 in 北大東島・南大東島

琉球舞踊とオーケストラ演奏を中心に公演を行い、約五〇〇人の県民の参加があり、五三九、四〇五円の義援金が集まりました。



琉球舞踊(チャリティーコンサート)



染織教室(移動大学)

北・南大東島では、音楽、美術工芸あわせて二十五の教室を開催し、延べ一八七名の参加者が得られました。それに加えて西洋音楽コンサート、琉球芸能公演を開催し、移動大学全体では延べ四二〇名近くの村民の参加がありました。

指導に関する技法的研究・調査等を役割としております。本学の活動を広く県民に認知してもらい、さらに本学教員のもつ教育研究のノウハウを県民に還元し、地域文化の活性化に貢献するために、平成二十一年度から移動大学を開催し、平成二十一年度は西表島と国頭村、平成二十二年度は与那国島、今年度は北・南大東島で開催しました。

地域に役立つ芸術大学を目指して

ため、「彫刻カジマヤー計画」として、地域に根ざした美術の普及活動に取り組んできました。

お問い合わせ 県立芸術大学 TEL:098-882-5000 FAX:098-882-5033

平成23年度 沖縄県功労者表彰式

県は、11月3日、平成23年度沖縄県功労者表彰式を那覇市内ホテルで開催し、受賞者の親族や関係者など多数の出席の下、各部門で功績のあった10人の方々に仲井真知事から表彰状と功労章を贈呈しました。



地方自治部門

よねむら こうせい 米村 幸政氏 (81歳)

琉球政府職員として本土復帰に伴う円滑な行政制度の移行に努め、沖縄県商工観光部長、総務部長、教育長のほか全国出納長会副会長を歴任し多年にわたり行政事務に精励した。



地方自治部門

なかの きよみつ 中野 清光氏 (77歳)

永年にわたり弁護士として活躍し、沖縄弁護士会会長の要職を歴任したほか、沖縄弁護士会民事介入暴力対策特別委員会委員長として暴力団追放活動に尽力するなど、安全・安心な街づくりに多大の貢献をした。



文化部門

おおしら まさこ 大城 政子氏 (82歳)

永年にわたり琉球舞踊の研さんを積み、県内外での公演活動を通じてその普及発展に尽力した。また、県指定無形文化財「琉球舞踊」、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者として後継者の育成に努めるなど、沖縄県における伝統文化の振興発展に多大の貢献をした。



文化部門

みつし ひろあき 三隅 治雄氏 (84歳)

永年にわたり沖縄の伝統芸能及び祭りについて調査研究し、図書の刊行やレコード・CDなどの音楽媒体の監修及び舞台公演の演出を通じて広く沖縄の伝統芸能を国内外に紹介するなど、その国際的評価を高めることに多大の貢献をした。



社会福祉部門

やすだ きみこ 安田 喜美子氏 (88歳)

永年にわたり名護市赤十字奉仕団員としてボランティア活動に精励し地域の福祉向上に尽力したほか、赤十字奉仕団沖縄県支部委員長の要職を歴任するなど、沖縄県における赤十字奉仕団の体制強化に多大の貢献をした。



産業経済部門

やぎ せんぺい 屋宜 宣貞氏 (89歳)

沖縄県初の家畜セリ市場の開設に尽力するなど、畜産の発展と流通体制の確立に尽力した。また、沖縄県酪農農業協同組合長として、生乳の需給調整及び酪農経営基盤の強化など、沖縄県の酪農の発展に多大の貢献をした。



産業経済部門

いしがき しんじろう 石垣 信亨氏 (86歳)

八重山地域で先駆けとなる観光ホテルを設立し、観光客の受け入れ体制の強化を図るなど八重山観光の発展に尽力した。また、石垣市商工会会長及び八重山法人会会長の要職を歴任し、八重山における商工業の発展及び人材育成に多大の貢献をした。



一般篤行部門

かひら ちゆうせい 川平 朝清氏 (84歳)

戦後の沖縄において、ラジオ及びテレビ放送の普及発展に尽力したほか、東京沖縄県人会会長として、本土と沖縄との親睦交流、琉球芸能の普及発展に努めるなど、沖縄県の観光及び文化の振興に多大の貢献をした。



一般篤行部門

ふくち ひろあき 福地 曠昭氏 (80歳)

永年にわたり、平和運動、人権運動の中心となって沖縄県民の人権擁護と自由人権思想の普及啓発に尽力したほか、沖縄県国際交流財団の要職を歴任するなど海外と沖縄との国際交流に多大の貢献をした。



一般篤行部門

さい せつれい 蔡 雪泥氏 (76歳)

中琉婦女交流協会を創設し台湾と沖縄の婦人交流の懸け橋として尽力したほか、中琉文化経済協会理事長として国際交流に努めるとともに教育機関及び福祉施設への寄付を行うなど沖縄県の文化、教育、福祉の向上に多大の貢献をした。

お問い合わせ 県秘書課 TEL:098-866-2080 FAX:098-860-1453



## イベント

### 障害者週間の集い

- 日時 12月3日(土)午後1時～4時30分  
※屋外イベントは午前10時～
- 場所 国立劇場おきなわ 小劇場
- 内容 ①功労者等表彰授賞式  
②講演会(田畑ユカリ(絵本作家)、石黒由美子(シンクロナオリンピック選手))  
③ミニライブ  
④屋外イベント(車椅子体験、フリーマーケット等)
- 問合せ 県障害保健福祉課  
☎098-866-2190

## 試験

### 沖縄県准看護師試験

- 日時 平成24年2月17日(金)  
午後1時30分～4時
- 場所 沖縄県立看護大学
- 受験願書請求先 県医務課
- 受験願書提出先 県医務課

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
December						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
January						

- 受験願書受付期間  
平成24年1月4日(水)～同月11日(水)まで。郵送の場合は1月11日(水)の消印有効。
- 問合せ 県医務課  
☎098-866-2169

## 募集

### 異文化交流会参加者の募集

- 募集期間 11月10日(木)～12月16日(金)
- 募集内容 内閣府主催「世界青年の船」事業の地方プログラムに係る「ディスカッション交流会参加青年」の募集
- 交流会日時 平成24年1月22日(日)午後1時～
- 応募資格 15歳～概ね30歳までの青年、日常英会話が可能
- 外国参加青年 インド、ペルー共和国
- 問合せ 県青少年・児童家庭課  
☎098-866-2174

### 第3回かりゆし美術展

- 期間 12月14日(水)～12月18日(日)

### 沖縄県男女共同参画計画

- 第4次沖縄県男女共同参画計画「DEIGOプラン」(案)の県民意見を募集します。
- 募集期間 11月7日(月)～12月6日(火)
- 公表方法 県のホームページに掲載。県平和・男女共同参画課、行政情報センター、宮古行政情報コーナー、八重山行政情報コーナーに備え付け
- 問合せ 県平和・男女共同参画課  
☎098-866-2500

### 統合リゾート地域説明会

- 県内にカジノを導入する場合の沖縄統合リゾートモデル及び懸念事項等についての説明会を開催します。
- 入場無料。
- 第4回説明会  
日時 12月20日(火)  
午後2時30分～4時
- 場所 宮古島市中央公民館

- 場所 沖縄県立博物館・美術館  
企画ギャラリー1・2
- 内容 アマチュア高齢者の創作による美術展
- 備考 絵画、彫刻、工芸、書、写真の5部門。入場無料。
- 問合せ (社)沖縄県社会福祉協議会  
☎098-887-1344  
県高齢者福祉介護課  
☎098-866-2214

### 県民カレッジ学校開放講座

- 日時 12月10日(土)  
午前10時～午後4時
- 対象 大人・小学生(保護者同伴)
- 費用 200円(保険料等)
- 内容 大宜味村喜如嘉の野鳥観察(午前・実習、午後・講義)
- 問合せ 辺土名高等学校 環境科  
☎0980-44-3103  
県教育庁 生涯学習推進センター  
☎098-864-0474

### 国リハセンター生徒募集

- 対象 知的障害及び発達障害の福祉分野に従事するために必要となる知識や技術の実践的な取得を希望する方
- 資格 4年制大学を卒業(見込)の方
- 保育士資格を取得(見込)の方
- 年限 1カ年(平成24年～25年3月)
- 学費 授業料年額345,000円  
宿舍料年額135,000円
- その他 宿舍完備(通学可能)
- 問合せ 国立障害者リハビリセンター自立支援局秩父学園附属保護指導職員養成所  
☎04-2992-4137  
県障害保健福祉課  
☎098-866-2190

### 第5回説明会

- 日時 12月21日(水)  
午後2時30分～4時
- 場所 石垣市総合体育館会議室
- 対象 一般県民(入場無料)
- 問合せ 県観光政策課  
☎098-866-2763

### 年末のパスポート申請

- 年末は旅券の申請が集中し、窓口が混雑することが予測されるため、早い時期の申請及び受け取りをお願いします。年内にパスポートの受け取りを希望される方は期日までに申請を済ませてください。
- 期日・場所 12月20日(火)  
沖縄県旅券センター(南部合同庁舎2F)  
期日・場所 12月14日(水)  
北部分室及び市町村
- ※期日を越えてからの申請は、平成24年1月4日(水)以降の受け取りになります。
- 問合せ 県交流推進課旅券センター  
☎098-866-2775

## お知らせ

### 健康おきなわ21推進大会

- 日時 12月11日(日)午後3時～6時
- 場所 名護市民会館(中ホール)
- 内容 やんばる弁当甲子園、ストレッチャ体操、特別講演(講師 北折一氏)ほか  
※どなたでも参加できます。入場無料
- 問合せ 県健康増進課  
☎098-866-2209

### 最低賃金周知広報

- 「必ずチェック 最低賃金」使用者も、労働者も」。沖縄労働局は、平成23年11月6日から沖縄県最低賃金を時間額645円に改定しました。なお、特定の産業には特定(産業別)最低賃金が定められています。
- 問合せ 沖縄労働局 賃金室  
☎098-868-3421

### エイズ無料検査日を拡充!

- 期間 12月1日(木)～12月22日(木)
- 場所 各保健所(適宜)
- 内容 世界エイズデーに伴い各保健所で即日検査日を拡充する。7・14・21日の水曜日は夜間即日検査を実施(適宜)。
- 4日は日曜検査実施(中央保健所のみ)
- ※要予約(各保健所)
- 問合せ 県健康増進課・各保健所  
☎098-866-2209

### くらしいきいき無料相談会

- 日時 12月5日(月)  
午前9時～12時、午後1時～4時
- 場所 沖縄市役所 1階 市民ロビー
- 内容 借金問題や生活再建、就労、こころの健康に関して県民を対象に、

## 各施設行事予定表

### 県立博物館・美術館

☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  
☎098-941-8200

#### ◆バックヤードツアー

- 日時 12月3日(土)  
午前11時～12時(美術館)、  
午後2時～3時(博物館)
- 集合場所:当館エントランスホール(美術館)  
当館ふれあい体験室前(博物館)
- 参加費:無料
- 定員:博物館、美術館とも各12名(先着)  
※午前9時から総合案内にて受付
- 内容:当館学芸員が、館のバックヤードを案内します。
- 問合せ:県立博物館・美術館

### 博物館

- 博物館特別展  
「宇宙」～遙かなるロマンを求めて～  
日時:11月3日(木)～12月28日(水)  
場所:特別展示室・企画展示室(3階)  
入場料:一般800円(640円)、  
高校生・大学生500円(400円)、  
小・中学生300円(240円)  
※( )内は前売料金及び20名以上の団体料金

#### ◆博物館文化講座

- 「博物館収集秘話」  
日時:12月17日(土) 午後2時～4時  
(午後1時30分開場)
- 講師:宮城篤正
- 場所:博物館・美術館3階講堂
- 定員:当日先着200名
- ※参加費無料

## 県広報課からのお知らせ

### 12月放送予定

- 3日・4日 / ちゅらさん運動でつくる犯罪のない沖縄県
  - 10日・11日 / 沖縄県の障害児(者)の歯科治療について
  - 17日・18日 / 飲酒運転根絶キャンペーン
  - 24日・25日 / 地域が育むキャリア教育 一ジョブシャドウイングー
  - 31日・1月1日 / 放送なし
- テレビ放送時間 / RBC 6:45 QAB 25:55 OTV 6:45



### ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。  
放送時間/毎週月曜日～金曜日  
ラジオ沖縄(864KHz) 11:50～11:55  
RBCiラジオ(738KHz) 11:55～12:00  
F M 沖縄(87.3MHz) 12:55～13:00

### 県政出前講座実施中

現在、96種類の講座を提供中!  
県の職員が講師として出向きます。  
詳しくはホームページをご覧ください。

詳しくはホームページへ **沖縄県** 検索 トップページ ▶ 広報・広聴について ▶ 広報誌、テレビ番組、県政出前講座等

県広報課 ☎900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp





ネット活用  
ウェブサイトを使って町の魅力を発信しよう！

町の魅力を一望できるウェブサイトなのね！

かつて南部の中心地として栄えた与那原町。現在は海岸沿いのマリントウン東浜の発展で注目を集



行政サイドとして同サイトとの支援体制を語る、同町広報担当の村松志門さん(左)、同町企画財政課の照屋さん(右)

同サイトのスタッフ伊藤玉緒さんは、「地元にいるからこそできる町の魅力を発信していきたい」と目を輝かせます。町の見慣れた日常を掘り下げて新たな魅力を発見する同サイトの取材姿勢は、「サイトを見た人が、この町の『通』になって、町をもっと楽しんでほしい」という、サイトの名称に込められた想いにつながっています。



情報収集は、町の人たちの協力なくしては始まらない

維持が大切  
町おこしの力になる

情報発信は継続がかなり!なのね。

同サイト内のツイッターに若者から感想が投稿された、県外の人々が同町へ移住する際に利用したなど、「与那原通」には、うれしい反響も少しずつ出てきました。また、サイト運営費のサポーターとして募ったスポンサーの交流会が開催されるなど、同サイトが縁となった、

## 与那原町

地域の日常に光を当てた町の魅力発信ポータルサイトは、活力ある町づくりの新たな動きとして期待を集めています。

める一方で、長い間、南部へ出かける際の通過点として位置づけられていたため、商店街の活気は低迷し、その底上げが町の課題となっています。同町の商工会では、その課題への取り組みとして、さまざまな勉強会を開催していました。

その中の「口コミセミナー」に参加したウェブデザイナーの森江直子さんが、その内容に触発されて、同町の口コミ的なウェブサイトを作りたいと思ったことがきっかけ



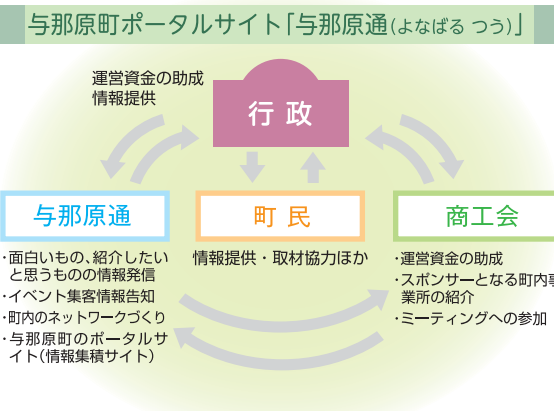
与那原通の誕生について語るスタッフの皆さん。手前から森江さん、伊藤さん、岩屋史子さん、米須清貴さん

地域ネットワークづくりも着実に実を結び始めています。

同商工会の知念千亜希さんは「商店街をはじめとした地域の活性化に役立つサイトにしてほしい」という想いを、同町企画財政課の照屋朝也さんは「行政ではなかなかできない、より地域密着の情報発信を継続してもらいたい。そのた



与那原町役場で行われた同サイトのオープニングセレモニー。同サイトのスタートボタンを押したのは、古堅國雄町長



となり、同町のポータルサイト「与那原通(よなばる つう)」の企画が持ち上がりしました。そして、当時の商工会担当者の尽力の結果、国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を申請して交付された町役場の委託を受けてサイト構築が本格化。平成二十二年七月、情報発信がスタートしました。

「どんな情報を発信したら、与那原町に足を運んでくれるかをテーマにしました」と森江さん。同サイトは、町役場や商工会など、与那原情報を独自に発信してきた既存サイトともリンクするポータルサイトとしての役割も担っています。



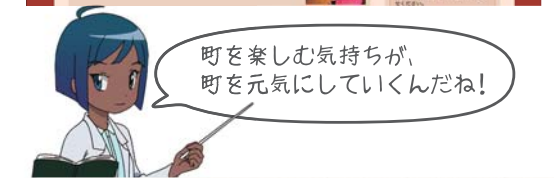
サイトの未来に熱い期待を寄せる同町商工会の大城盛治さん、知念さん

めの行政サポートをしっかりとやっていきたい」と、それぞれの期待と抱負を語りました。

県内で一番コンパクトな町のインパクトある情報を提供する「与那原通」。運営維持をめぐってNPO法人化の取り組みも始めました。地域の人たちと行政がゆるやかに連携して取り組む「与那原通」は、同町を楽しく活性化させる媒体として、地域の期待を集めています。



同サイトのスポンサーの皆さんとスタッフの交流会。地域の絆が深まる時間



## 編集後記

11月8日、沖縄県で震度4の地震があり、これまでに経験したことのない揺れの大きさに、驚かされました。今年は7月にも同程度の地震があり、沖縄も地震と無縁でないということに強く意識させられます。職場の消防訓練などの機会を生かし、日頃から防災意識を高めることが大事だと感じました。(kai)

毎年この時期になると「あれしておけばよかった、これしておけばよかった」と後悔の念ばかりが…。皆さんは今年1年どんな年でしたか?今からでも遅くない!!今年やり残したことを、年内に消化し、新しい気持ちで新年を迎えましょう!!来年も「美ら島沖縄」をよろしくお祈りします。(tama)

平成23年12月1日発行 第35巻12号通巻435号

沖縄県広報誌 **美ら島沖縄**

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

### アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

▶ パソコンはこちら **美ら島沖縄** **検索**

▶ 携帯電話は、右のQRコードから



「通」の視点で  
当たり前に見ている日常に  
この町の魅力がある

与那原町へ行くことになることを基本にしているのね。

